

白金校舎学生スタッフ活動報告

今年度は、今まで主に横浜校舎で活動していた社会福祉学科生8名も白金校舎で活動するようになり、春学期の1次募集と秋学期の2次募集でも7名の学生が新たに加入し、白金校舎の学生スタッフは合計で34名に増加した。以下に2007年度白金校舎学生スタッフの主な活動について、報告する。

【研修会】

6月に行った研修会では、まず李コーディネーターからボランティアセンターの位置づけや役割などについて話を聞いた。その後グループに分かれ、テーマを用意しての企画立案ディスカッションなどを行った。これらを通して、ボランティアセンターに関する基礎的な知識を得るとともに、新しい企画を仲間と話し合いながら考えることが出来た。また、今年度新規加入の学生スタッフと昨年度から活動している学生スタッフとが交流出来たことは、その後の活動を広げていくことにつながった。

【ボラセンカフェ】

昨年度から始まったボラセンカフェを今年度も引き続き実施したが、秋学期からは新しい企画を取り入れた。それは、毎週学生スタッフ2名が自身のボランティア体験を模造紙にまとめ、白金ボランティアセンターの前に掲示するというものである。月曜日と木曜日の昼休みには、この掲示板を人通りの多いパレットゾーン(福利厚生施設)に持ち出して、より多くの学生に見てもらえるよう工夫した。また、水曜日の昼休みには白金ボランティアセンターでボランティア体験談発表会を行った。具体的には、学生スタッフが各々のボランティア体験談を発表し、毎週10名ほどの学生が参加した。発表会は白金ボランティアセンター内の限られたスペースで行われたために集まった人数によっては窮屈な状態だった。ときにはセンター内の机を移動し、床にダンボールを敷いて、聴衆はそこに座って発表を聴くこともあった。しかし窓から発表会の様子が見えるため、教室で行うよりも他の学生に対するアピール効果は高かった。また、発表した学生スタッフたちも手話を使ったクイズを行ったり、ボランティアの感想を川柳にまとめて表現したりするなどの様々な工夫で聴きにきた学生たちを大いに沸かせた。このように人前でプレゼンテーションをするという貴重な経験ができ、学生スタッフがお互いのボランティア体験情報を共有し合うことによって交流も深まった。また、この企画を担当した学生スタッフも「発表を聴いて色々な分野のボランティアに興味湧き、それぞれ違った考え方・捉え方があって面白かった」と手ごたえを感じていた。今後は、より多くの人をどのようにして巻き込んでいくかが課題である。

【ボラセン通信】

ボラセン通信とは、ボランティア体験談や学生スタッフの活動とその参加者の感想などを新入生や学外の人などに紹介する広報誌で、毎年夏と冬の2回発行している。今年度の夏号は横浜の学生スタッフが、冬号は白金と横浜の学生スタッフが共同で編集を担当した。夏号はボランティアセンターが実施したプログラムの参加者へのインタビューや、横浜で行われた「Let's Try! ボランティア in Spring」の

活動報告などを載せ、冬号は本学の学生が参加しているボランティア活動の感想などを載せた。また、冬号ではより多くの人に手にとって読んでもらえるよう「面白く分かりやすい」をコンセプトに、表紙に本学の創設者へボンの写真を大きく載せてインパクトを出し、ボラセン通信の学内設置場所も増やすといった工夫・改善を行った。今後、学生スタッフのボランティア先などにボラセン通信を直接配布するなどして、学外との繋がりを作っていきたい。そして、発行にあたって両校舎の学生スタッフ間の連携の方法や、内容として最も読み手側に伝えたいことは何なのかをはっきり表現するといったことが課題である。

【神奈川大学主催交流会への参加】

9月に神奈川大学横浜キャンパスで、ボランティアに関係する様々な団体を集めた交流会が開催された。本学も白金校舎の学生スタッフを中心に参加し、他大学と活動報告や意見交換を行うことによって刺激を受け、ネットワークを広げる良い機会となった。そして外部に学生スタッフの活動を説明することで、今年度から加入した学生スタッフと共にこれまでの活動を振り返り、理解し直すことが出来た。

【その他の活動】

その他の細かい活動内容については以下、箇条書きにて報告する。

- ◆Let's Try! ボランティア in Summer²・・・両校舎の学生スタッフで初めて内容を統一して行った。
- ◆夏ボラ掲示板・・・夏休み中のボランティア情報をコンパクトにまとめ、学生スタッフ手作りの掲示板に6月から掲示した。夏休み終了後も、「ボランティアは初めて」という学生が参加しやすい短期間ボランティアを紹介する掲示板として引き続き活用している。掲示板はダンボールや画用紙などを材料に、季節感ある飾りつけも行いながら製作した。この掲示板は白金ボランティアセンター前に設置した。
- ◆ゴミ分別プロジェクト・・・新入生オリエンテーション期間に新入生へゴミ分別の呼びかけを行った。

〔今年度の活動を通して〕

今年度は学生スタッフの人数が大幅に増加し、その人数の多さゆえに困惑する場面もあった。また、「学生スタッフ」に対する認識の多様性、情報伝達の不十分さ、組織としてのまとまりの足りなさなどが浮かび上がった。このような現状に対して問題意識を持っていた学生スタッフも数名いたが、それを全体の問題として取り上げる機会を設けることが出来ず、結果的にずるずると先延ばしになってしまった。今後は学生スタッフの抱えている問題について個人レベルではなく全体で共有し、良いものは発展させ、悪いものは改善していくという姿勢を積極的に持つことが必要である。

(白金学生スタッフチーフ 3年 中倉 剛)

¹ 「ボラセンカフェ」の概要については「ボランティアセンター報告書第3号(2006) 白金校舎学生スタッフ活動報告」を参照。

² 詳しくは本書「I. 2007年度活動報告 横浜校舎学生スタッフ活動報告」を参照。